

## 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2005年24週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数
  - 男女別
  - 推移グラフ
  - 保健所別
  - 保健所別(定点当たり)
  - 年齢階級別
- 病原体・抗体検査情報
  - 週別検出状況
  - 臨床診断名別検出結果
- 感染症豆知識「Q熱」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



# 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

## 発生動向の概況 《2005年24週》

### (全数把握対象疾患)

- ・今週報告された腸管出血性大腸菌感染症全例で焼肉、レバ刺、ステーキの喫食が確認されている。
- ・今週報告されたA型肝炎症例は20週にA型肝炎として報告された症例の子供である。
- ・一週当たりのHIV感染症報告数としては、今年最多(36件)となった。このうち26件は新宿区内の同一医療機関からの報告である。

区分	疾患	報告	情報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
三類	腸管出血性大腸菌感染症	3	O157 VT1・VT2(2件)	国内
			O26 VT1(1件)	
四類	A型肝炎	1	推定感染経路: 飲食等による経口感染	国内
	レジオネラ症	1	61歳男性、発熱、呼吸障害 レジオネラ・ニューモフィラ 1群 推定感染経路: 不明	国内
五類	アメーバ赤痢	4	推定感染経路: 経口感染1件、 異性間性的接触1件、ハトからの感染(?)1件、 不明1件	国内3件、不明1件
	ウイルス性肝炎	1	B型 推定感染経路: 異性間性的接触	国内
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	孤発性 ほぼ確実 臨床決定 推定感染経路: その他	国内
	HIV感染症	36	無症候性キャリア26件、AIDS9件、その他1件 推定感染経路: 異性間性的接触5件、 同性間性的接触27件、不明4件	国内32件、カナダ1件、 フィリピン1件、ザンビア1件、 タイ・クウェート1件
	ジアルジア症	1	推定感染経路: その他	国内
	梅毒	1	無症候梅毒 推定感染経路: 同性間性的接触	国内

(推定される感染地は医師の届出によるものである。)

### (定点把握対象疾患 一小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点一)

- ・流行性耳下腺炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が依然として多い。ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱の報告数が増加している。

### (検査情報)

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
脳炎	3	髄液	ムンプスウイルス	遺伝子
ムンプス性髄膜炎	6	髄液	ムンプスウイルス	
髄膜炎	13	髄液	エンテロウイルス	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
不明熱	3M	髄液	EBウイルス	遺伝子
突発しん	8M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
不明発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
不明発しん症	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、ヒトヘルペスウイルス6型	
原因不明発熱 発しん症	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
発しん 発熱	12	咽頭拭い液	EBウイルス	
じんましん	5	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
気管支炎	8M	咽頭拭い液	アデノウイルス	
咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
扁桃炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
流行性角結膜炎	28	結膜拭い液	アデノウイルス	
梅毒	40	血清	カルジオリピン抗原法 (RPR 16倍)	抗体

腸管出血性大腸菌 菌株検査情報

血清型	産生毒素			合計
	VT1	VT2	VT1・VT2	
O157		2	2	4
O26	1			1

ウイルス性胃腸炎(集団事例)検査情報

検査区分	検査試料数	陽性数	ノロウイルス		ロタウイルス	その他
			G I	G II		
施設内感染疑いまたは食中毒等	41	20	15	5		

**定点医療機関からのコメント**

大田区保健所

・インフルエンザ:5歳女兒1例は、A型でした。

中野区保健所

・結膜炎を伴わないアデノウイルス感染症が蔓延してます。

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2005年24週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ					3		24
	細菌性赤痢	1	1	2		39	4	252
	ジフテリア							
	腸チフス					4		23
	パラチフス		1			3		6
三類	腸管出血性大腸菌感染症	4	4	3	3	27	77	659
四類	E型肝炎					4	( )	( 23 )
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		1		1	12	( 3 )	( 98 )
	エキノкокクス症							10
	黄熱							
	オウム病					2	1	25
	回帰熱							
	Q熱			2		2		5
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					3	2	79
	デング熱					4		15
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							9
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ボツリヌス症					1			
マラリア	1				7		28	
野兎症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症	1	1		1	7	6	70	
レプトスピラ症					1	( )	( 2 )	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	5	2	4	79	6	302
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)		5		1	25	5	135
	急性脳炎					10	( 3 )	( 110 )
	クリプトスポリジウム症					1		5
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	9		61
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					2	1	30
	後天性免疫不全症候群	8	8	12	36	194	15	504
	ジアルジア症			1	1	6	1	27
	髄膜炎菌性髄膜炎			1		2		6
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	1		1	36	2	225
	破傷風					1	4	38
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2				7		32

2005/06/27集計

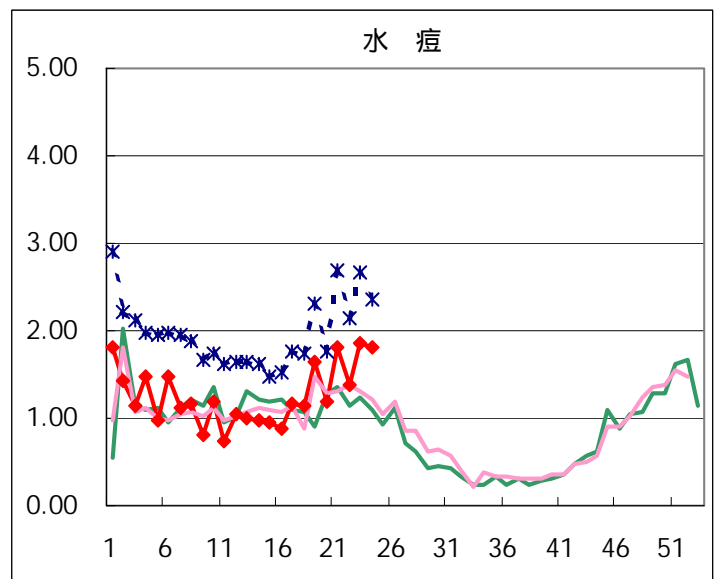
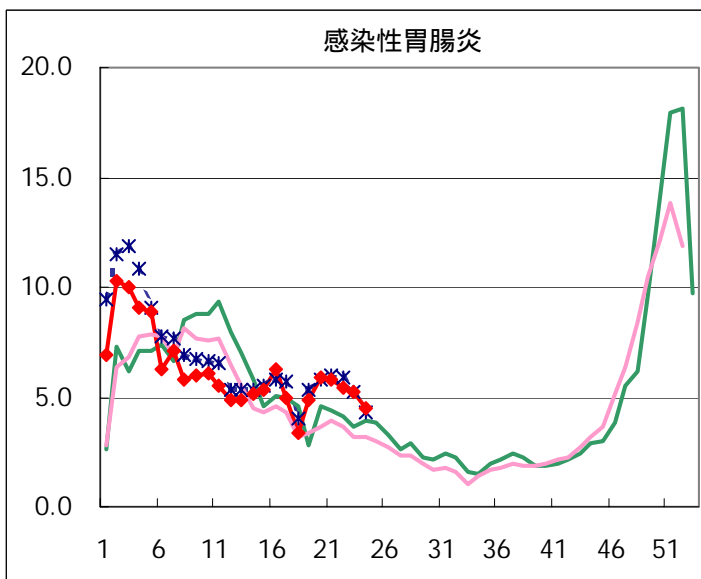
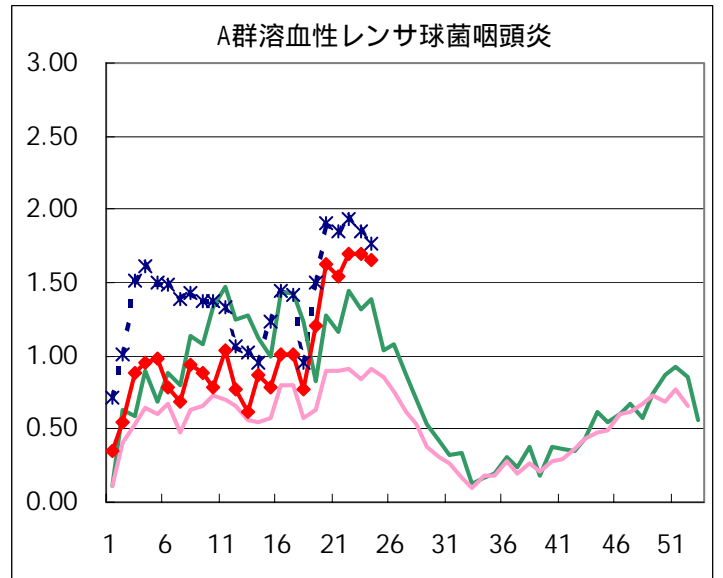
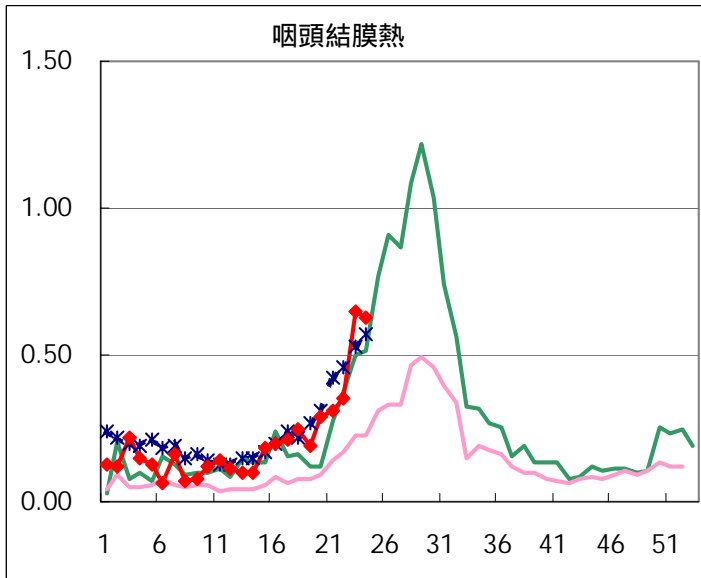
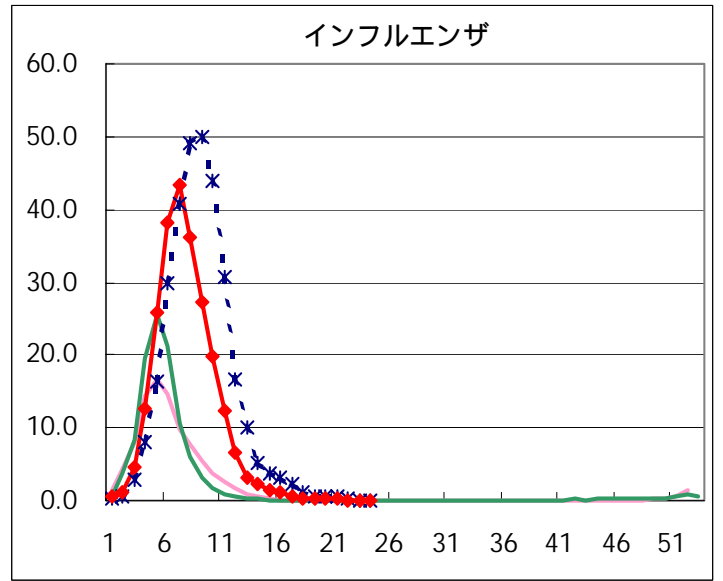
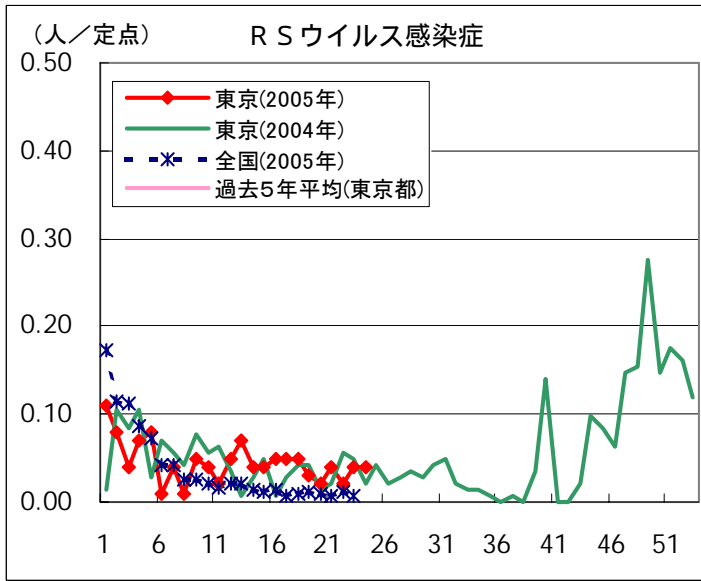
(カッコ内の数値は23週分)

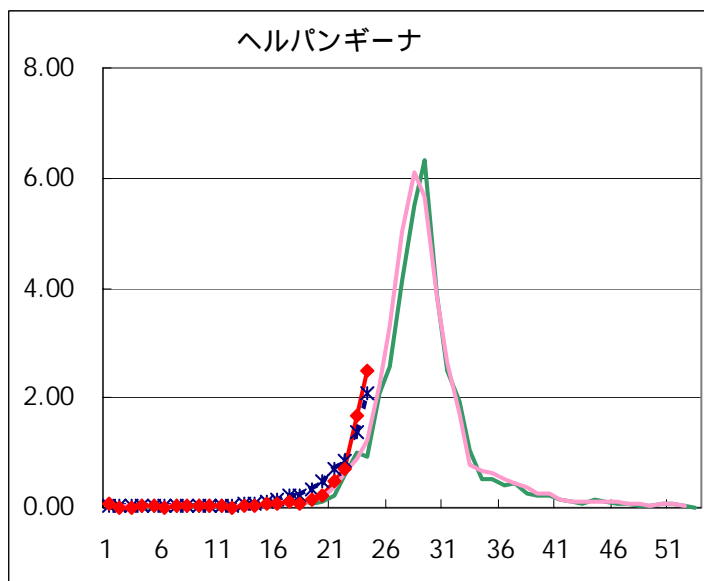
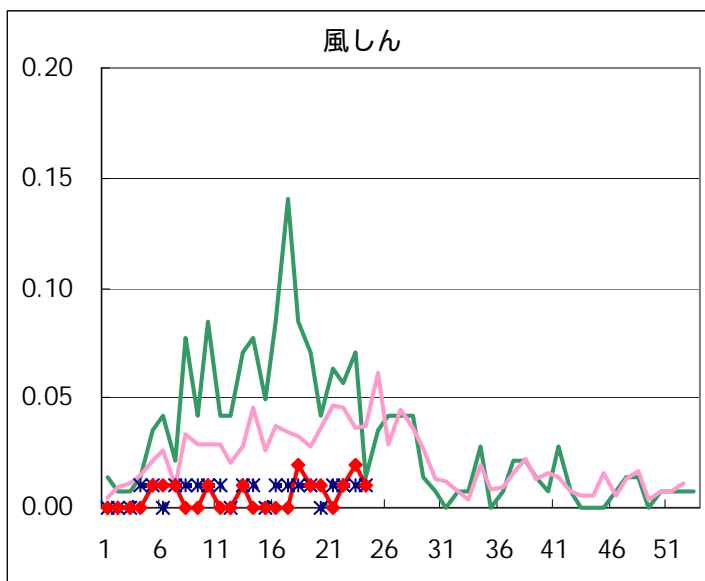
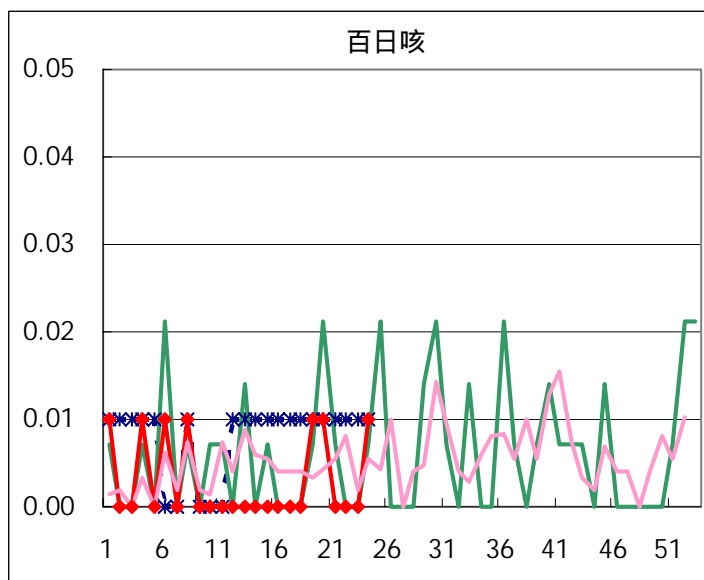
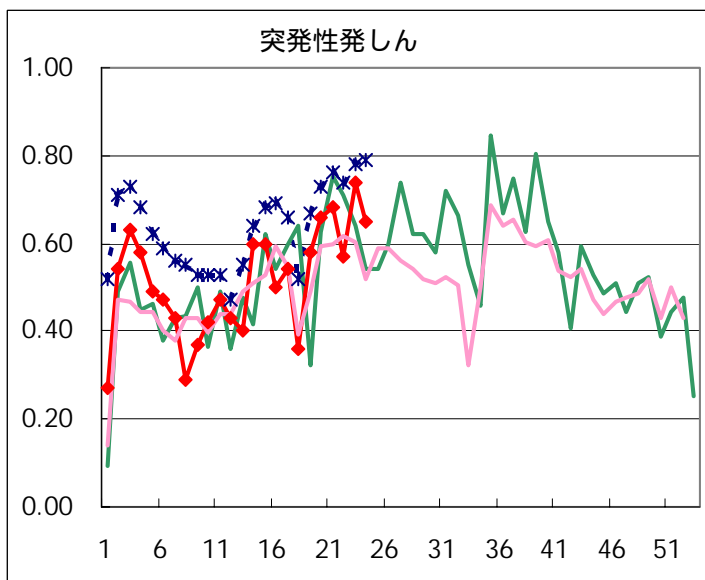
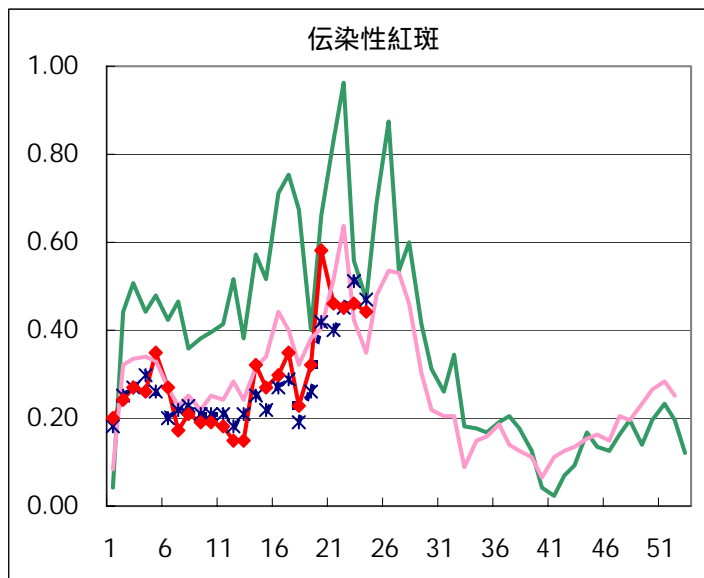
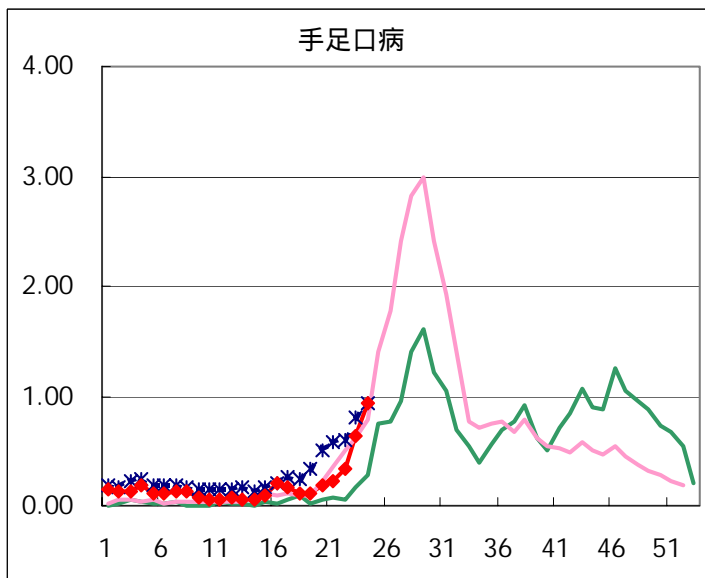
## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2005年24週

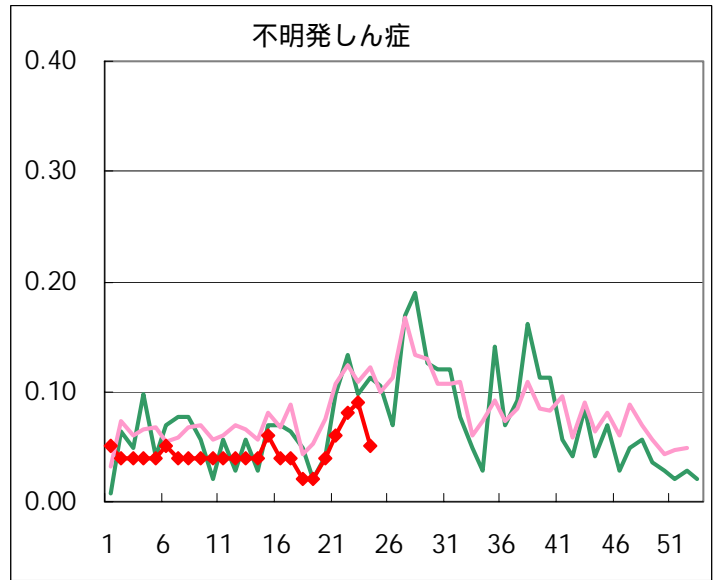
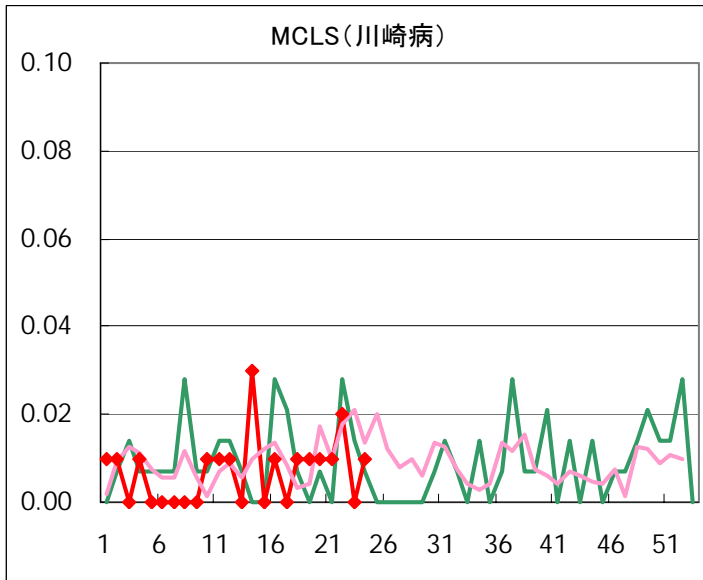
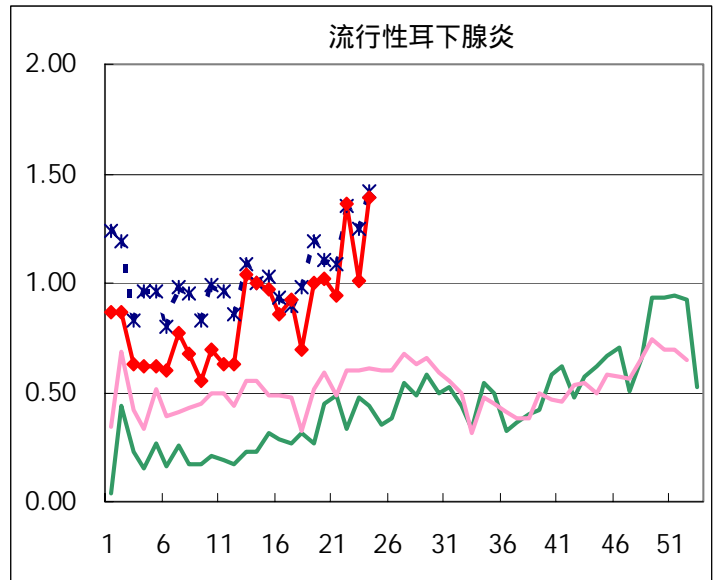
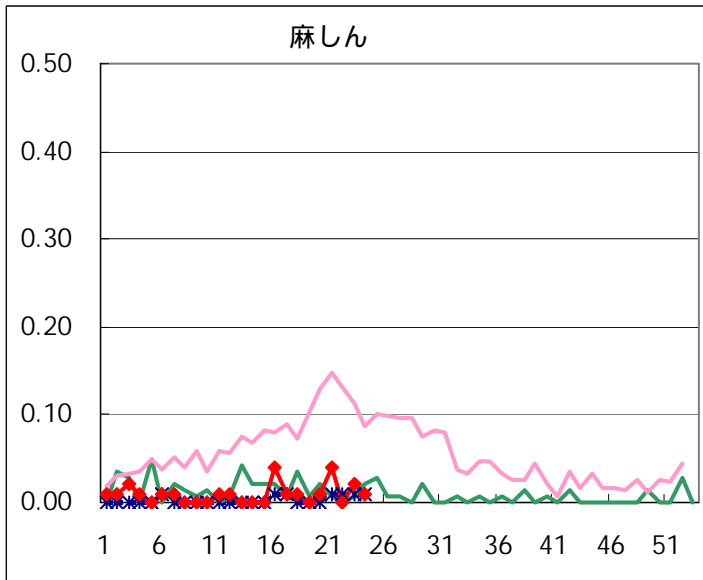
疾病名	性	2005年				4週合計	年累計
		21	22	23	24		
RSウイルス感染症	男	3	1	2	3	9	87
	女	2	2	3	2	9	65
インフルエンザ	男	11	7	2	1	21	20,993
	女	18	3	4	5	30	21,377
咽頭結膜熱	男	21	29	50	52	152	387
	女	23	21	42	38	124	314
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	120	141	138	128	527	1,856
	女	98	101	102	108	409	1,564
感染性胃腸炎	男	462	401	392	324	1,579	10,798
	女	363	372	353	318	1,406	10,283
水痘	男	137	110	133	144	524	2,282
	女	122	86	131	112	451	2,015
手足口病	男	15	23	53	89	180	360
	女	16	25	36	44	121	277
伝染性紅斑	男	42	30	37	24	133	492
	女	24	34	29	38	125	505
突発性発しん	男	47	43	52	55	197	902
	女	50	38	53	38	179	842
百日咳	男				1	1	5
	女						4
風しん	男		1	2		3	7
	女			1	2	3	11
ヘルパンギーナ	男	30	57	129	171	387	462
	女	38	44	111	182	375	452
麻しん(成人麻しんを除く)	男	2		1		3	12
	女	4		2	1	7	18
流行性耳下腺炎	男	70	95	84	111	360	1,573
	女	64	98	60	87	309	1,325
不明発しん症	男	4	9	7	5	25	89
	女	4	2	6	2	14	62
MCLS	男	2	2		1	5	15
	女		1		1	2	8
急性出血性結膜炎	男				1	1	3
	女						1
流行性角結膜炎	男	3	9	7	4	23	129
	女	4	6	4	4	18	104
細菌性髄膜炎	男	1				1	4
	女						3
無菌性髄膜炎	男			1		1	7
	女						2
マイコプラズマ肺炎	男	1		5	2	8	35
	女			1		1	30
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男		1	1		2	2
	女						2
成人麻しん	男						
	女						

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2005年24週現在

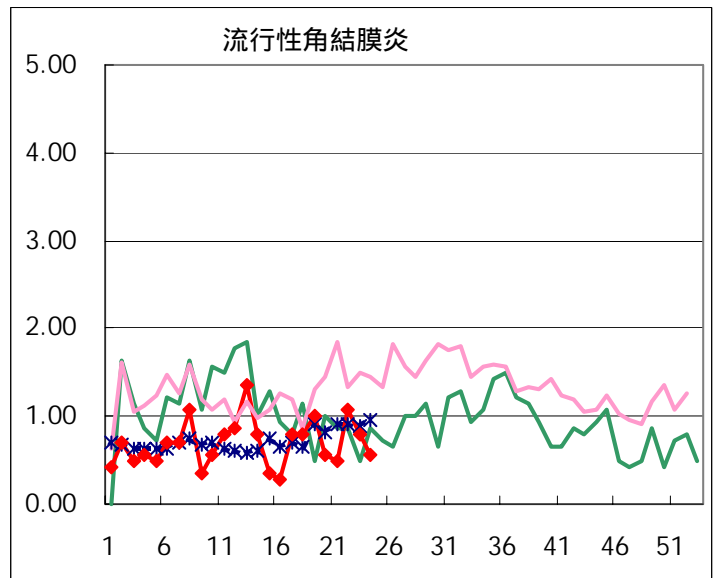
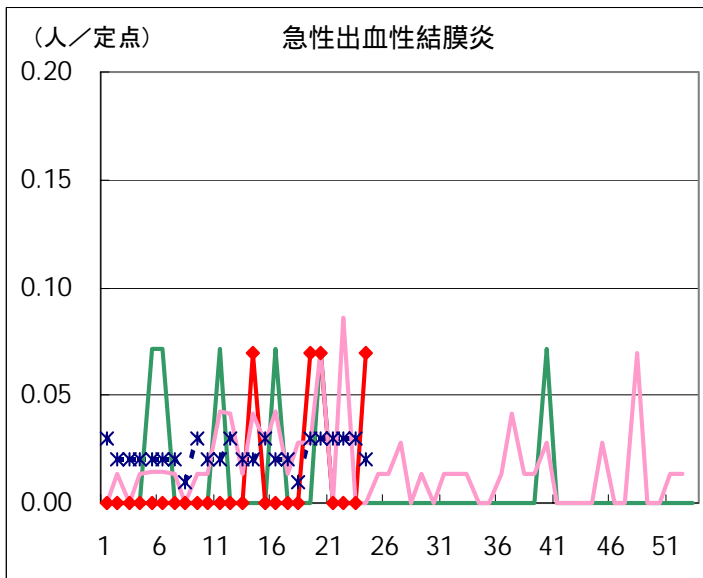
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点





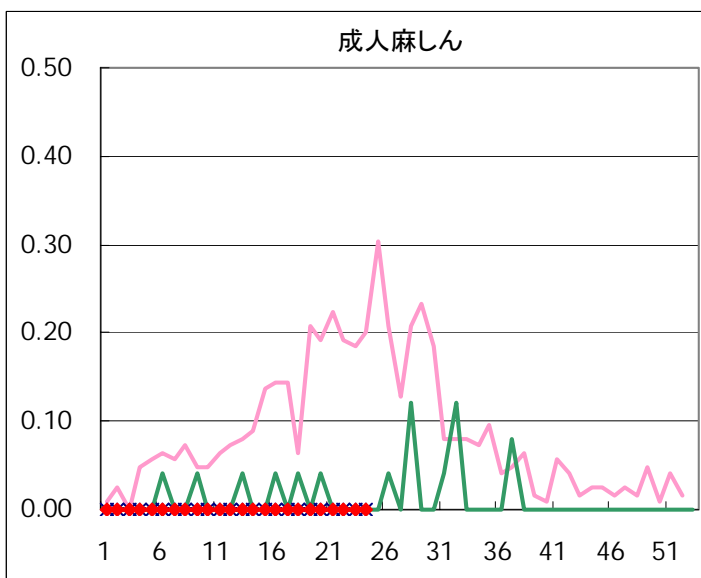
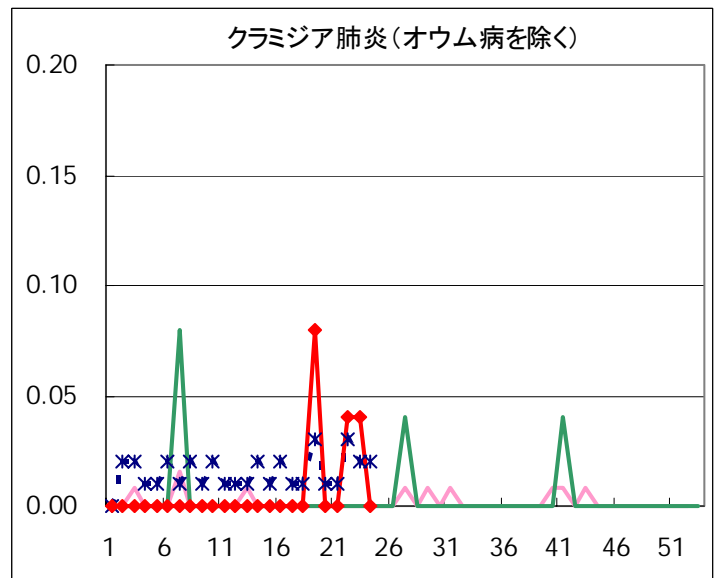
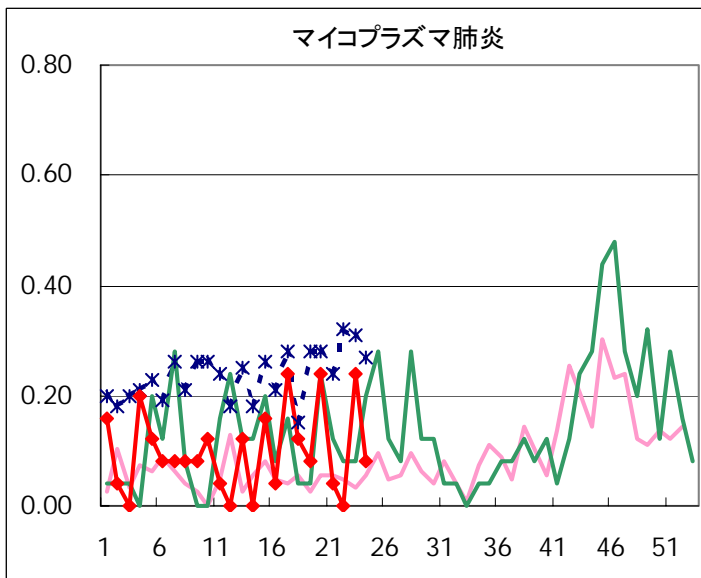
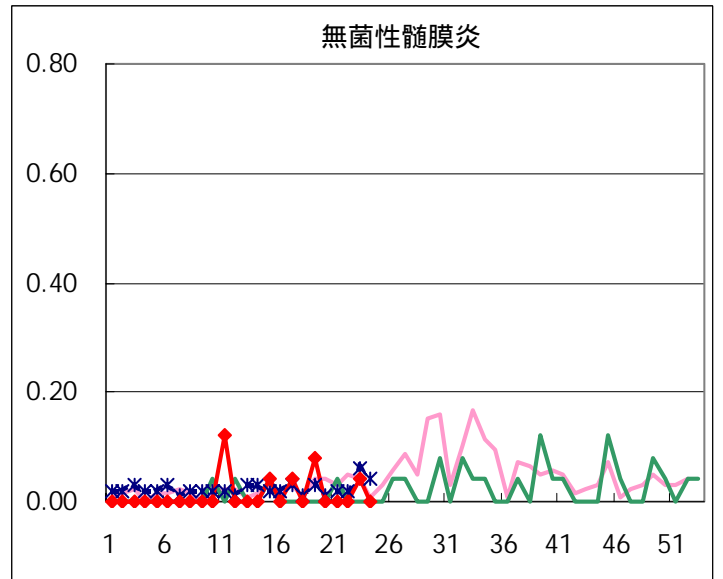
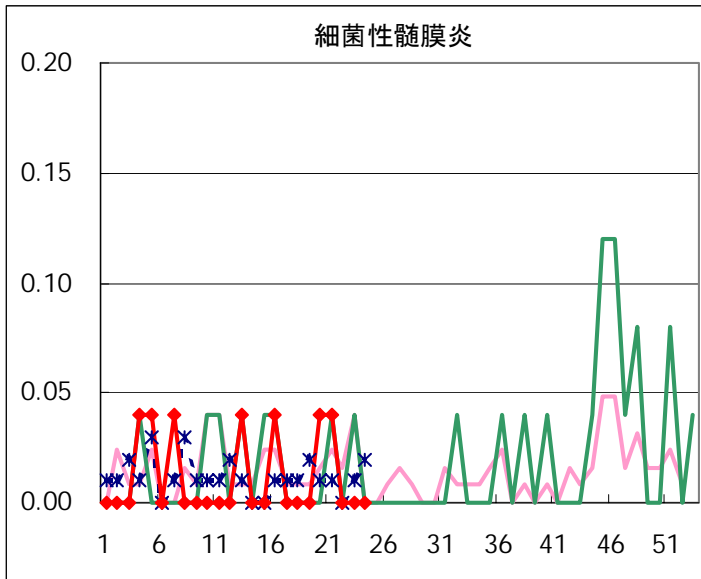


◆ 眼科定点





◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻疹	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年24週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					2					
中央区				5	13	4	1		3	
みなと	5		20	9	16		3	1	2	
新宿区				4	19	4		1	2	1
文京					6		4	1		
台東				6	12	8	1	1	2	
墨田区				4	9	16	1	1	2	
江東区				2	16	12	8		5	
品川区			2	5	65	10	11	3	6	
目黒区			1	5	9	4	1		1	
大田区		1	5	16	49	12	22	2	5	
世田谷			3	9	25	11	3	5	6	
渋谷区				5	22	12	4	1	2	
中野区				18	30	12	3	1	4	
杉並			10	14	56	11	2	3	5	
池袋					4	3	1	1	2	
北区		1		9	26	6	5	2	5	
荒川区			4	13	14	6	3	2	1	
板橋区				4	26	6		4	2	
練馬区			14	11	41	7	8	7	3	
足立			3	3	14	5				
葛飾区				9	13	3	3	4	3	
江戸川		2	7	15	14	13	4		5	
西多摩				7	21	17	34		2	
八王子			3		6	5		1	4	
南多摩		2	1	6	14	12	1	6	4	
町田			1	14	21	15	3			
多摩立川				1	9	1		1	1	
多摩府中			5	21	28	16	5	7	10	
多摩小平			11	20	42	23	2	7	6	
島しょ				1		2				

東京都合計	5	6	90	236	642	256	133	62	93	1
定点当り報告数	0.04	0.03	0.63	1.66	4.52	1.80	0.94	0.44	0.65	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年24週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田				1			2		5
中央区		4							30
みなと		11		1					68
新宿区	1	6		2	1	5			46
文京		19		2		2			34
台東		33		3					66
墨田区		13		6					52
江東区		18		6					67
品川区		7		8					117
目黒区				2					23
大田区	1	10		17			1	1	142
世田谷		13		9					84
渋谷区				4					50
中野区		3		3			2		76
杉並		4		18					123
池袋		1							12
北区		34		22			1		111
荒川区		27		1					71
板橋区		5		6					53
練馬区		7		10					108
足立		6		1					32
葛飾区		20		8					63
江戸川		64		15				1	140
西多摩		10		12					103
八王子		3		8					30
南多摩		7		5					58
町田		4		5					63
多摩立川		2		5					20
多摩府中		12		9					113
多摩小平		10		7		1	1		130
島しょ			1	2					6

東京都合計	2	353	1	198	1	8	7	2	2,096
定点当り報告数	0.01	2.49	0.01	1.39	0.07	0.57	0.05	0.01	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年24週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田					0.50					
中央区				1.67	4.33	1.33	0.33		1.00	
みなと	0.83		3.33	1.50	2.67		0.50	0.17	0.33	
新宿区				0.67	3.17	0.67		0.17	0.33	0.17
文京					2.00		1.33	0.33		
台東				2.00	4.00	2.67	0.33	0.33	0.67	
墨田区				1.33	3.00	5.33	0.33	0.33	0.67	
江東区				0.67	5.33	4.00	2.67		1.67	
品川区			0.33	0.83	10.83	1.67	1.83	0.50	1.00	
目黒区			0.33	1.67	3.00	1.33	0.33		0.33	
大田区		0.10	0.56	1.78	5.44	1.33	2.44	0.22	0.56	
世田谷			0.38	1.13	3.13	1.38	0.38	0.63	0.75	
渋谷区				1.25	5.50	3.00	1.00	0.25	0.50	
中野区				3.00	5.00	2.00	0.50	0.17	0.67	
杉並			1.67	2.33	9.33	1.83	0.33	0.50	0.83	
池袋					0.80	0.60	0.20	0.20	0.40	
北区		0.20		2.25	6.50	1.50	1.25	0.50	1.25	
荒川区			2.00	6.50	7.00	3.00	1.50	1.00	0.50	
板橋区				0.67	4.33	1.00		0.67	0.33	
練馬区			2.80	2.20	8.20	1.40	1.60	1.40	0.60	
足立			0.75	0.75	3.50	1.25				
葛飾区				2.25	3.25	0.75	0.75	1.00	0.75	
江戸川		0.40	1.75	3.75	3.50	3.25	1.00		1.25	
西多摩				1.40	4.20	3.40	6.80		0.40	
八王子			1.50		3.00	2.50		0.50	2.00	
南多摩		0.50	0.33	2.00	4.67	4.00	0.33	2.00	1.33	
町田			0.50	7.00	10.50	7.50	1.50			
多摩立川				0.17	1.50	0.17		0.17	0.17	
多摩府中			0.50	2.10	2.80	1.60	0.50	0.70	1.00	
多摩小平			1.83	3.33	7.00	3.83	0.33	1.17	1.00	
島しょ				1.00		2.00				

東京都合計	5	6	90	236	642	256	133	62	93	1
定点当り報告数	0.04	0.03	0.63	1.66	4.52	1.80	0.94	0.44	0.65	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年24週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
千代田				0.25			0.50	
中央区		1.33						
みなと		1.83		0.17				
新宿区	0.17	1.00		0.33	0.50	2.50		
文京		6.33		0.67		2.00		
台東		11.00		1.00				
墨田区		4.33		2.00				
江東区		6.00		2.00				
品川区		1.17		1.33				
目黒区				0.67				
大田区	0.11	1.11		1.89			0.11	0.11
世田谷		1.63		1.13				
渋谷区				1.00				
中野区		0.50		0.50			0.33	
杉並		0.67		3.00				
池袋		0.20						
北区		8.50		5.50			0.25	
荒川区		13.50		0.50				
板橋区		0.83		1.00				
練馬区		1.40		2.00				
足立		1.50		0.25				
葛飾区		5.00		2.00				
江戸川		16.00		3.75				0.25
西多摩		2.00		2.40				
八王子		1.50		4.00				
南多摩		2.33		1.67				
町田		2.00		2.50				
多摩立川		0.33		0.83				
多摩府中		1.20		0.90				
多摩小平		1.67		1.17		1.00	0.17	
島しょ			1.00	2.00				

東京都合計	2	353	1	198	1	8	7	2
定点当り報告数	0.01	2.49	0.01	1.39	0.07	0.57	0.05	0.01

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2005年24週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月					8	6	2		5
～1歳			3		39	9	5	1	48
1歳			17	5	54	46	36	1	38
2歳			12	11	62	31	26	4	2
3歳		1	23	23	62	47	22	6	
4歳		1	10	35	73	47	12	13	
5歳		1	9	31	64	33	11	6	
6歳			1	38	47	14	6	10	
7歳			7	32	34	7	5	5	
8歳			3	11	31	4	2	5	
9歳	1		2	12	27	4	1	2	
10～14歳			1	19	47	6	3	6	
15～19歳		1		1	21	1			
20～29歳	4	1	2	18	73	1	2	3	
30～39歳		1							
40～49歳									
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	5	6	90	236	642	256	133	62	93
先週比	0	0	-2	-4	-103	-8	44	-4	-12

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月			1						
～1歳			28				1		
1歳	1		78		10			1	1
2歳			55	1	18				1
3歳			63		33			2	
4歳			54		36			1	
5歳			35		21			1	
6歳			15		25				
7歳			9		19			1	
8歳			5		11				
9歳			2		5				
10～14歳			3		11			1	
15～19歳		1							
20～29歳		1	5		9		1		
30～39歳							3		
40～49歳						1	1		
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳							2		
80歳以上									
合計	1	2	353	1	198	1	8	7	2
先週比	1	-1	113	-2	54	1	-3	-6	2

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

# 病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年17週～24週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2005年								
		17	18	19	20	21	22	23	24	
ウイルス	アデノ	1	2	14	4	16	6	13	5	61
	ライノ			2		1				3
	ポリオ					2	2			4
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71			2						2
	その他のエンテロ	1		2	1	1			3	8
	単純ヘルペス		2	2						4
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7		6	4	1	1	3	7	3	25
	EB		1	2		2		2	2	9
	サイトメガロ		1	2	1	1	2			7
	ムンプス		3	1		2	1	2	2	11
	麻疹									
	風しん									
	パルボB19						2		1	3
	RS	1								1
	ノロ	141	25	4	72	50	23	10	20	345
	ロタ	3	1	4		3				11
インフルエンザAソ連型										
インフルエンザA香港型		1		1					2	
インフルエンザB型										
デング		1							1	
その他のウイルス		1				1	4		6	
細菌	カンピロバクター									
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌						4	2	5	11
	その他の腸管系病原菌				1		1			2
	溶血性レンサ球菌		1	2	4		3	12		22
	MRSA			3	1			9		13
	MSSA									
	その他の細菌									
その他の病原体			2			1			1	4

臨床診断名別検出結果 2005年17週～24週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他の	合計
搬入検体数	4	25	37	1230	43			6	2		1	32	8				182	
アデノ	1	5	10	9	4			3			1	9	1				18	61
ライノ			1		1							1						3
ポリオ			1	3														4
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71					2													2
その他のエンテロ		1	1		1			1				2					2	8
単純ヘルペス												2					2	4
水痘・帯状疱疹																		
ヘルペス6/7		3									1	12					9	25
EB												3					6	9
サイトメガロ		1	1		1												4	7
ムンプス					7								3				1	11
麻疹																		
風しん																		
パルボB19											1	1					1	3
RS			1															1
ノロ				341	4													345
ロタ				7	4													11
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型	1	1																2
インフルエンザB型																		
カンピロバクター																		
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																	11	11
その他の腸管系病原菌																	2	2
溶血性レンサ球菌																	22	22
その他の病原体		1	5														18	24
備考	この表の「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「その他の病原体」の合計である。																	



## <感染症豆知識>

### Q熱

Q熱はリケッチアの一種コクシエラ・バーネティの感染によって起こる。オーストラリアで発見されて以来世界中で患者が報告されている。病原体は多くの動物、ダニに感染しており動物の尿、糞、乳汁に排泄される。ヒトへの感染源は主に家畜やペット動物である。感染動物は不顕性感染で症状のないことが多い。胎盤で増殖し易く、牛や羊の胎盤や羊水からヒトに集団感染したり、出産時の猫からヒトに感染することがある。ヒトからヒトへはほとんど感染しない。わが国では1988年カナダで感染し帰国後発病した患者が最初の症例で、1999年から始まった感染症法の届出により、毎年数十人の患者が報告される。症状は急性型と慢性型に分けられる。急性期は潜伏期が2～3週間で、発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、呼吸器症状などを示すが、臨床像は多彩で肺炎が主症状のもの、肝炎が主なものなど様々である。検査所見ではCRP、GOT、GPTの上昇、血小板の減少、貧血などが見られる。2～10%は心内膜炎を主徴とする慢性型に移行する。急性期から回復後、不眠、倦怠感、関節痛などが数ヵ月～数年持続することがある。Q熱に特徴的な症状・所見に乏しいため、他の呼吸器感染症や心内膜炎と鑑別することは難しい。診断は疫学的な背景と病原体（コクシエラ・バーネティ）に対する特異抗体の検出か急性期の血液からのPCR法による遺伝子の検出による。治療はテロラサイクリンとクロラムフェニコールが有効で、発症から3日以内に投与開始し2～3週間続けるのが最も効果がある。

(文責 関根大正)